

施策評価シート【分野別施策】

施策名		関係部					
1-③	生涯学習や文化芸術活動の環境を充実する	市民部、社会教育部					
所管事業に関連する成果指標							
指標名	単位	実績値				5年度 目標値	推計値に よる評価
		改訂計画 策定時	2年度	3年度	4年度		
各種講座・講習会への参加者数（年間）	人	46,836	10,956	20,020	31,337	49,400	未達成
博物館・美術館の特別展の観覧者数（年間）	人	198,813	28,859	96,093	82,835	142,300	未達成

関連事業				
○囲碁文化振興事業○平塚文化芸術ホール管理運営事業○無形文化財保護事業○多様な学習推進事業○地域の人材発掘・活用事業○地区公民館整備事業○電子図書館事業○博物館特別展事業○博物館教育普及活動推進事業○魅力ある美術展覧会事業○美術教育の普及・体験事業				
決算額				
	2年度	3年度	4年度	5年度
事業費（千円）	163,824	440,761	680,870	
執行率（%）	61.16	92.68	97.25	

施策の推進に向けた主な取組の「成果」
<ul style="list-style-type: none"> ・シニア学級ではスマートフォンセミナーを開催するなど、現代的課題・生活課題などを取り上げた多様な学習機会を提供しました。また、平塚版のE S D（持続可能な開発のための教育）評価方法を策定し、全ての事業で振り返りと評価を実施しました。さらに、吉沢公民館の完成及び四之宮公民館の建て替えに向けた設計を進めました。 ・博物館における人文、自然分野の特別展、デジタル展示ガイド「ひらはく展示+」の導入、美術館における展覧会やワークショップの開催、デジタルコンテンツを拡充しました。また、「ひらつか民俗芸能まつり」では、守り伝えられてきた郷土の民俗芸能を披露、囲碁文化の普及と振興のため、囲碁まつりや女流棋聖戦の誘致、子ども対象囲碁教室等のイベントを開催しました。 ・来館しなくても手軽に読書を楽しめるように、電子図書館サービスを開始しました。 ・文化芸術の新たな拠点となる文化芸術ホールを整備するとともに、隣接する見附台公園と一体的に活用して、中心市街地に広がるような賑わいを創出しました。

施策を推進する上での「主な課題（・）」と課題解決を図るための「取組方針（⇒）」

- ・年齢層や地域課題にあった講座の展開、市民の課題解決意欲を高める必要があります。
- ⇒社会情勢や市民ニーズを把握するとともに、課題を自分事と捉えられる人材や意識を育てるため、E S Dの取組を意識した事業を展開していきます。
- ・地域の自然や文化・美術への関心を高めるとともに、無形文化財保持者、囲碁文化担い手となる人材確保及び育成が必要となります。
- ⇒特別展や普及体験事業、ワークショップの開催及び魅力あるW e bコンテンツの開発に注力し、市民の文化・知的欲求に応え、気軽に活動できる機会を提供するとともに、演技技術の維持向上や棋力強化教室等の開催により、新たな後継者を確保、育成します。
- ・誰もが図書に触れ、楽しめる機会を充実する必要があります。
- ⇒電子図書館サービスの周知と、子どもが気軽に利用できるサービスを整えます。
- ・文化芸術ホールを、文化芸術及び賑わい創出の拠点として活用する必要があります。
- ⇒文化芸術に触れる機会及び中心市街地や市内外に広がるような賑わいを創出するための取組を推進します。